

学位論文審査の結果の要旨

Pichit Khetkam

本研究は、キュウリ (*Cucumis sativus*) およびトウモロコシ (*Zea mays*) が生産する根寄生植物種子発芽刺激物質の単離・構造解析を行ったものである。キュウリからは既知のストリゴラクトン (SL) を同定すると共に、2 種類の新奇 SL の単離・構造決定に成功した。トウモロコシからは既知の SL 以外に、SL の生合成中間体である carlactone から派生したと予想される新しいタイプの発芽刺激物質を単離・構造決定した。類似の化合物がキュウリからも得られている。これらの知見は根寄生植物の宿主認識機構の解明研究および関連する天然物化学研究の発展に大きく寄与するものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士(農学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。